



2024年3月5日

各位

会社名 株式会社歯愛メディカル
(コード番号 3540、東証スタンダード)
代表者名 代表取締役社長 清水 清人
問合せ先 取締役経営管理部長 三好 誠治
TEL 076-278-8802
URL <https://ci-medical.co.jp/>

上場維持基準の適合に向けた計画に基づく進捗状況及び

計画期間の変更について

当社は、2021年12月21日に「新市場区分における「スタンダード市場」の選択と上場維持基準の適合に向けた計画書」を提出し、その内容を開示しております。2023年12月31日時点における計画の進捗状況について、また上場維持基準の適合に向け計画書を変更しましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 当社の上場維持基準の適合状況の推移及び計画期間

当社の2023年12月31日時点における東証スタンダード市場の上場維持基準への適合状況は、以下のとおりとなっており、「流通株式比率」については基準を充たしておりません。2023年12月31日時点において、当社の発行済株式総数のうち86.6%は当社大株主である当社代表取締役の清水清人並びに当社の資本業務提携先であるエア・ウォーター株式会社が所有しております。

		株主数 (人)	流通株式数 (単位)	流通株式時価 総額 (億円)	流通株式比率 (%)
当社の 適合状況	2021年6月30日時点 (移行基準日時点)	2,163	10,591	74.7	10.5
	2022年12月31日時点	1,850	12,850	65.1	12.8
	2023年12月31日現在	1,747	12,853	49.8	12.8
上場維持基準		400	2,000	10	25
2023年12月31日現在の適合状況		適合	適合	適合	不適合
当初の計画書に記載した計画期間					2024年12月期末
変更後の計画期間					2025年12月期末

※当社の適合状況は、株式会社東京証券取引所が基準日時点で把握している当社の株券等の分布状況等をもとに算出をおこなったものです。

当社は当初、新本社ロジスティクスセンターが2023年後半に本格的に稼働開始することを予定していたことから、同センター建設が当社の企業価値拡大に寄与し、その効果が当社業績に対して通年で寄与することを見込んでいた2024年12月期末までに対応を進める計画としておりました。

しかしながら、新本社ロジスティクスセンターへの完全移転を2023年12月末迄に予定していた中、システム・設備の立ち上げに想定以上に時間を要したこと、年初の令和6年能登半島地震の影響で設備に微妙にズレ等が生じたことで再度調整が必要となったこと等により、完全移転は2024年3月末を見込んでおります。

そのことで新旧センターが並行稼働している2024年12月期中は物流関連コストが重複して発生する等の過渡期であるため、同センターが当社の企業価値拡大に寄与し、その効果が当社業績に対して通年で寄与する2025年12月期末までに上場維持基準の適合に向けた対応を進めることに計画を変更することといたしました。

2. 上場維持基準の適合に向けた取組の実施状況及び評価、並びに今後の課題と取組内容

当社は、2023年3月29日に開示した「上場維持基準の適合に向けた計画に基づく進捗状況について」において、上場維持基準を充たしていない「流通株式比率」を高めるための環境を整えるためIR活動等の施策を実行することで、企業価値の拡大と併せて株式流動性の向上を図り、当社株式の受け皿となる投資家を増やすことで流通株式比率の改善に寄与して行く方針を定めました。2023年12月期については、IR活動の充実と併せて、新物流センターが計画通りに稼働を開始し、安定稼働を早期に実現すること等により企業価値の向上を図ることに注力することといたしました。

これらの取り組みの実施状況及び評価は以下の通りです。

(1) 取組の実施状況及び評価（2023年1月～2023年12月）

- ① 前述の新物流センター建設プロジェクトに全社的に注力し2023年10月竣工を実現し、出荷能力につきましては順次増強を図っております。
- ② 決算説明資料にて、新本社ロジスティクスセンターの建設進捗及び竣工、進行年度の主なトピックス、2024年度通期業績予想を上期と下期に分けて開示する等、IR資料の充実を図りました。また、機関投資家とのIRミーティング等を継続的に実施してまいりました。
- ③ 当社の主たる事業である通信販売事業において、歯科医院向けを中心に新商品の販売及び個人医院・総合病院等の医科業界及び動物病院業界への参入拡大を引き続き進め、円安基調や原材料価格の高騰の影響による商品調達価格上昇の影響が続く中、2023年5月と11月に歯科通販総合カタログを発刊し価格改定により収益改善を図っております。歯科以外の通販事業におきましても順次価格改定を実施しております。また、全国主要都市での当社主催によるデンタルショーの開催により、大型医療機器を中心とした売上拡大と当社認知度の向上を図っております。
- ④ 2023年12月にはインナーウェアのインターネット販売事業会社株式会社白鳩の株式取得（議決権所有割合33.2%）による持分法関連会社化等、企業価値の拡大のための様々な施策を実施しております。
- ⑤ 2023年3月29日に開示した「上場維持基準の適合に向けた計画に基づく進捗状況について」に記載しております、当社の発行済株式総数のうち86.6%を保有する当社大株主である当社代表取締役の清水清人並びに当社の資本業務提携先であるエア・ウォーター株式会社との流動株主比率の向上のための協議につきましては継続中であり、今後も引き続き行なってまいります。

(2) 今後の課題と取組内容

- ① IR活動等の施策を充実させ、株式市場での当社について正しくご理解いただくことで株式流動性の向上を図り、当社株式の受け皿となる投資家を増やすことで流通株式比率の改善に寄与してまいります。
- ② 2024年度下期には当社の今後の方向性並びに成長戦略等についてご説明する機会として、決算説明会の開催を予定しております。
- ③ 2024年12月期末までに中期経営計画を策定し、開示することを予定しております。

- ④ 進行年度（2024年12月期）につきましては、新本社ロジスティクスセンターにおいて2024年3月末までに安定稼働並びに完全移転を実現させることで、今後は大幅に増強された商品保管・出荷能力、競争力を持つ低コストオペレーション能力を十分に活用し、成長戦略を実現させ企業価値の向上に注力してまいります。具体的には、商品の保管能力及び出荷能力が約3倍に増強する計画であることから、当社グループの主力事業である通信販売事業を中心に、新商品の販売及び個人医院・総合病院等の医科業界への拡大を更に深め、動物病院、介護業界、理美容業界、幼稚園・保育園業界などへの拡大も更に進めてまいります。また、保管能力並びに出荷能力が大幅に増強されることにより、商品購買や管理、受注などを請け負う「3PL事業（物流受託事業）」の拡大が可能となることから、本格稼働に向けて新たな顧客（提携）企業の募集を開始しております。
- ⑤ 上記の通り、新センターへの完全移転を実現させることより、今後は大幅に増強された商品保管・出荷能力、競争力を持つ低コストオペレーション能力を十分に活用し、新規事業（CiBiz スマイル：オフィスや工場などで毎日使う日用品をご提供する一般事業者様向け BtoB 総合通販事業、2024年2月開始）等の成長戦略を実現してまいります。
- ⑥ 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応については、現状分析や改善・向上に向けた目標および施策の検討を行っており、具体的な計画については決まり次第開示してまいります。また、少数株主保護及びグループ経営に関する開示情報の充実につきましても、適切な情報開示に向け検討を行っております。
- ⑦ 流通株式比率向上の具体的な施策につきましては、決定次第速やかに公表いたします。

以 上